

こころざし

笑顔 ありがとう



こころざしをそだてる

コロナ禍を乗り越え、ようやく学校が学校らしい姿を取り戻したこの1年。

榛中には毎日のように精一杯語り合い、歌い、躍動し、励ましあう生徒たちの姿が戻りました。

豊かな体験を通して、手にするものは知識だけでなく、生きていく上で必要となる力、そしてすべての源となる「こころざし」です。

今後も、榛中は様々な活動を通して「あんなふうになりたい」「こんなことができるようになりたい」というこころざしの種を育ててまいります。

結びになりますが、生徒たちの成長を支えてくださった御家庭や地域の皆様に、感謝申し上げます。



感謝の気持ちをカタチに



お世話になった方たちに、生徒たちからのメッセージを贈る活動を始めて三年目となります。

贈られたメッセージが力を貸してくださった皆様の励みになると同時に、「やって良かった」と思っていただけで幸いです。

2月2日の学校運営協議会では、生徒から直接メッセージを手渡ししました。受け取った時の委員の皆様の笑顔に、心が温かくなりました。

まごころの連鎖



2月27日に細江区に住む方が御夫婦で榛中にいらっしゃいました。

その方は、前日に財布とスマートフォンが入った大切なバッグを落としてしまい困っていたそうです。

偶然にもそのバッグを拾ったのが、3年生の5人の生徒でした。大切なバッグであることを悟った5人は、バッグの中を確認し、持ち主の住所が書かれたメモを発見しました。

本人に届けることを相談した5人は、その住所をたよりに落とし主の家を見つけ、無事に届けることができたそうです。

そのやさしさと行動力に感心した持ち主の方は、5人にお礼を伝えるだけでは満足できず、わざわざ学校までそれを伝えに来てくださいました。

まごころをこめた行動ができることは素敵です。そして自分が味わった喜びをまごころをこめて伝えに来てくださった御夫婦の行動も素敵です。まごころが連鎖した瞬間を見た気がしました。